

平成27年度

八幡工業高等学校 学校評価

本年度の重点目標

・生徒や保護者、地域から認められ、信頼される、特色ある工業高校づくりに努める。
 ・生徒の学ぶ力を高める授業改善を進め、確かな学力や豊かな心を育む教育活動に努める。
 ・教育をとりまく情勢を的確に把握し、社会の変化や産業の動向に適應する教育実践に努める。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	全職員が教育目標を共有し、相互理解と信頼に基づき教育活動を推進する。	A	A	A
	工業技術・技能の習得を目指し、技術者・技能者として相応しい資質を身につけさせる。	A	A	A
2 学習指導	シラバスに基づき、基礎的・基本的な知識・技能の習得と学力向上に努める。	A	A	A
	生徒の学ぶ意欲を高める、魅力ある授業の改善や指導の工夫に努める。	A	A	A
3 生徒指導	基本的な生活習慣の確立を目指すとともに校内美化の推進に努める。	A	A	A
	生徒理解と相互の信頼関係に根ざした指導を行い規範意識の醸成と防災意識の高揚に努める。	A	A	A
	生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめの未然防止や早期発見に努める。	A	A	A
4 進路指導	望ましい勤労観・職業観を育成し、目的意識の早期確立に努める。	A	A	A
	進路の手引きや校内資料の充実および進路相談体制の整備に努める。	A	A	A
5 特別活動等	クラス活動を活発にし、生徒の実態に即して、LHRや行事を適切に行う。	A	A	A
	生徒会を中心に、生徒による計画、運営ができるように指導する。	A	A	A
6 学校図書館	蔵書と環境の整備を図り、図書資料を有効に利用するよう指導する。	A	A	A
	文化的行事等を企画し、読書啓発活動に努める。	A	A	A
7 保健・安全指導	生徒の健康管理と事故、病気、怪我の予防ならびにその対応を適切に行う。	A	A	A
	避難訓練などを実施し防災に対する意識高揚に努める。	A	A	A
8 人権教育	互いの人権を尊重し、生き生きとしたクラスや学校づくりに努める。	A	A	A
	LHRなどを活用し、人権意識の高揚にむけて取り組む。	A	A	A
9 環境教育	教科指導等で地域資源の活用や自然体験活動を取り入れ、自然や地域と共生する力を育成する。	A	A	A
	日常の清掃活動を通して節電、節水、ゴミの減量など環境保全活動に取り組む。	A	A	A
10 事務・管理	環境対応製品の購入を積極的に行う。	A	A	A
	施設設備の安全性を確保する。	A	A	A
11 その他 学校の取り組み	各種指定研究の推進に努め、学校経営に活かす。	A	A	A
	小・中学生を中心に地域への学校開放を進める。	A	A	B

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。